

北原明彦先生を偲んで

商学部長 今 村 寛 治

北原明彦先生は、1980年に明治大学経営学部を卒業され、同大学大学院経営学研究科にマーケティング論専攻で進学されました。

先生が本学（当時は熊本商科大学）商学部にマーケティング・マネジメント論担当の専任講師として赴任されたのは、1987年4月です。その後、90年に助教授、98年には教授に昇格されました。また2000年には、大学院商学研究科教授としてマーケティング・マネジメント論特殊研究演習を担当されることになり、大学院教育にもたずさわっていただきました。

研究者としては、1988年に入会され長きにわたり貢献された日本商業学会をはじめ、日本社会心理学会や産業組織心理学会でも報告されるなど積極的な活動がめだちます。

先生は、明治大学大学院時代にすでに7本の学術論文を執筆されていますが、主著は『人間主義のマーケティング』と『消費者行動論』でしょう。前者は、コトラー（P.Kotler）の提唱するHumanistic Marketingに影響を受け、それを日本的マーケティングの風土の中で活かそうとする意欲作でした。93年に本学付属の産業経営研究所から出版されましたが、のちに同文館から改訂版が出ています。また後者の『消費者行動論』は創成社から第2版まで出されています。

もちろんそれ以外にも、本学の紀要に相当数の論文を寄稿されましたが、一方で多くの翻訳も残されています。先生が海外の研究を積極的に学び続けられた証左でしょう。

本学で先生は、講義科目以外に、基礎演習、発展演習、応用演習など1年生から4年生までの演習科目（ゼミナール）を担当され、流通系分野の教育に力を注いでくださいました。大変面倒見の良い、温かいお人柄で、ランチやコンパで先生からご馳走になったゼミ生も多かったと思います。

先生がご自宅で急逝されたのは2017年7月の暑い盛りでした。先生のプライベートは存じあげませんが、長い間必ずしもご体調が万全とはいえない状態だったと聞いております。歩くのもやっとという感じで出勤されているお姿をお見かけしたこともあります。仕事をお休みして静養されてはいかがですかと、お伝えしてみようかと思ったこともあります。しかし、先生の研究と教育への情熱は少しも衰えることなく、最期まで大学人としてお仕事を続けられました。

先生が30年の長きにわたり本学に尽くしていただいたことに対し、商学部を代表して感謝を申し上げ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。先生、ゆっくりお休みください。ありがとうございました。